

令和7年度 第2回大津市科学館運営協議会 議事録要旨

令和8年1月22日（木）15：10～

1 開会挨拶

2 会長挨拶

3 協議及び質疑

- (1) 令和7年度 事業報告について
- (2) 令和8年度 事業計画について
- (3) その他 ・運営協議会の委員の任期について

会長

説明いただいたことについて、質問、意見をお願いします。いかがでしょうか？

委員

来場者数2位ということで、オーロラ特別講演であったり、敬老スペシャルであったり様々な取り組みの成果が表れたのだと感じていました。さらに良くしていくためにということで、ホームページのことで意見を述べたいと思います。現状のホームページはスマホでは見にくいと思っています。やはりスマホで見やすい画面というのは大事な視点だと思います。また、多言語対応なども考えていただければ良いのではないかと思っています。いかがでしょうか。

事務局

ご指摘いただいた通りだと思います。スマートフォンで見るとパソコンの画面よりも小さく見えたり、狙ったところタッチできなかったりということがあります。これについてはなんとか更新をしていきたいと思っています。予算獲得に向けて努力しているところでございます。その後、多言語対応だとか、webからチケットが買えるようにだととも検討していきたいと思っております。

委員

LINE でお試しプラネタリウムについての投稿を見ました。すごく良いプログラムだなと思っておりました。県外から 17.9% 来館しておられるということにも驚いておりました。膳所城跡公園が近くにあるというのもあるので、いろんな目的で科学館に来やすいからなのかなと思っております。振替休日などで平日に科学館に行こうと思うことがあったのですが、平日はプラネタリウムはやっていないということで残念に思つたことがあります。イブニングプラネタリウムはありますが、また平日にも投影を増やしてもらえたならと思っております。

事務局

平日水曜日の 15：30 からの投影をしていましたが、来館者数としては多くありませんでした。この曜日、この時間では市民のニーズに応えられていないのかなという思いから変更した形がイブニングプラネタリウムになります。みなさんから意見をいただいて、平日のこの時間はニーズがありそうだということがわかりましたら前向きに検討したいと思います。

委員

星空観望会でカメラをつけて電子観望をしているということに興味を持ちました。これから、どのように活用していくかと考えていますか。

事務局

電子観望についてはプラネタリウムと天文ドームの LAN が繋がっていない状態なのですが、将来的にはプラネタリウムでそのときの星空を映し出すということをしたいと考えておりますが、それにはまだ時間がかかるかといった状態です。現状できるとすれば、電子観望でパソコン上に映し出した画像を保存して、プラネタリウムに映すことはできます。こういったことができるということを紹介しながら、星についてより興味を持つてもらえるように、取り組みを進めていけたらと思っています。

事務局

星空観望会では大津天文同好会のみなさんも積極的に電子観望をしていくかという思いを持ってくださっています。直近でいうと、オリオン大星雲を見ました。オリオン座の三ツ星の下あたりで、もやもやして見えるところがオリオン大星雲ですが、そこにカメラを向けると赤く見えるのですが、それを見て参加者のみなさんは感動されていました。これから他の星についても電子観望をしていきたいと考えております。

委員

ネットワークが繋がっていなくても、電子観望はできるのですか。

事務局

星空観望会では、基本は望遠鏡を目で覗いてみてもらう形ですが、いくつかある望遠鏡の1台にカメラを設置して、そこから大きなモニターに映し出すといった形で見るのが電子観望です。望遠鏡を覗く順番待ちでも、モニターを見て楽しむことができます。その画像を保存しておくと、プラネタリウムを持って行けばリアルタイムのものではないけれどドームに映し出することもできるといったことです。また琵琶湖ウォッチングや広報物やXの投稿などいろんなものに活用できます。そして、ネットワークが繋がれば、今の星空がどうなっているかということをリアルタイムで映し出せるようになるという訳です。そういうことをしていきたいと思っています。

委員

先日、京都新聞に大津市科学館のプラネタリウムのことが載っていました。プレスに載ると影響は大きいだろうなと思いました。来年度もプレスを活用して頑張ってほしいと思っています。SNSを活用ということが報告の中にありました。少し前に残念なことがあったことを思い出しました。高島市の野鳥センターが閉鎖しました。朽木の施設も閉鎖したと聞いているので、そう考えると自然関係の施設がどんどん閉鎖に追い込まれています。やはり、若者や、そうでなくともSNSで情報を得ている方が多いと思います。一度、注目されるとすごく効果があると思うので、X、LINEもそうですがInstagramなど様々な形で情報を発信していくと良いかと考えます。

委員

大学生がSNSで発信してくれるようになれば良いかもしかれないとthoughtいました。

事務局

メール配信を使った情報発信をしていたのですが、あまり発信していませんでした。それなら、思い切ってメール配信をやめて、SNSに力を入れていこうということで動いています。SNSはLINEとXになります。LINEについては大津市の公式アカウントなので、それに登録していただいている方みなさんに届けることができます。比較的多くの方が登録されていると思います。ただXについてはフォロワーが約100人です。100人程にしか情報が届かないという現状があるので、フォロワーをより増やしていくけるようにということは今後考えていかないといけないと思っているところです。

委員

駐車場はいつできますか。

事務局

生涯学習センターの事業で進めております。真横が現場ですので、まず見ていただければと思います。ここは警察官舎だったのですが、地面に入っていた杭を全て抜き、今は整地の作業にかかっているところです。業者によると軟弱地盤だということで地盤改良をしないといけないということも言われております。その後、舗装をして、線を引いて完成となります。工期としては3月17日となっていますが、もう少しかかるかもしれません。それでも、年度内の3月31日までには完成します。でき次第、開放したいと思っています。駐車台数としましては、77台増える予定です。トータルでいうと約180台駐車できるようになりますので、これまでご不便をおかけしていましたが、かなり改善されるかと思っております。

委員

駐車場は来館者数にかなり影響があると思います。特に、小さいお子さんがおられるファミリー層は、駐車場がないならやめておこうかともなってしまいそうです。駐車場の完成を楽しみにしております。

委員

先程、じっくり展示ホールを見に行ってみました。前に見たときと様子が変わった印象を受けました。というのも、すみずみまでサービス精神旺盛だと感じました。展示物というよりも、その周りなのですが、小さい子が写真を撮れるようなスポットがあり、そこには子どもが持てるようなグッズも置いてありました。私もかわいいなと思い、実際に持ってみたのですが、最近はスマートフォンがあり、写真を撮る機会が増えたのでこういったところは喜ばれるだろうなと思いました。その他、前にはなかつたところに椅子が置いてありました。そこからもサービス精神を感じました。いろんな層の来館者を想定されていることがよくわかります。椅子があることは高齢者にとっては非常にありがたい。ちょっと座れるところがあるというだけでもすごく嬉しいです。また、キッズトンネルもいいなと思いました。でも、よく考えたら、ここに入るにはお金を払わないと入れないのだなと思いました。幼児は無料だけれど大人は有料ですから。だからこれは、展示ホールに入った人へのサービスなのだと理解しました。これは仕方がない話ではございますが。プラネタリウムのアンケートを見ていると、小さな子がいるご家庭はいろんなところに気になってしまうということがわかります。「自分の子が騒いだらどうしよう」とか「一度退出した方が再入場できないのはかわいそう」とか、そういうハードルが少しでも低くなれば、もっともっと若い型からの来館が増えるのかなと思います。そして、そういう人たちがXなどで発信してくれて、周りに広まつたらしめたものだなと感じました。そして、最後に【かがくの

こ】についても続けて頑張っていきたいということで非常に嬉しいです。ありがとうございました。

事務局

展示ホールの中を見ていただき、いろんな気づきをもっていただいたということでありがとうございます。今、言っていたようにいろんな層の方に楽しんでもらえるようにということは常々考え、意識していますのでこういったご意見をいただけて大変ありがとうございます。また小さい子を連れた方に気軽に来ていただけるようにということはとても大事なことだと思います。プラネタリウムから退出したら、再入場はできないというのは、ドーム内が真っ暗になってしまうので元の席に戻るのが危険ということからそういったルールにしています。ですが、「はじめてのプラネタリウム」のように少し明るくしている投影なら、泣いて出てももう一度入ることができますので、そういった回をもう少し増やすとか、よりみなさんが安心して来館できるように考えていきたいと思います。また、来館者に対して行っているアンケートがあるのですが、大抵「良かった」というような意見をもらう中、「こういったものがあると嬉しいな」という意見を書いていただくこともあります。そこから新たに置くようになった椅子もあります。「さわれる地球の解説をじっくり見るための椅子がほしい」という意見から、そこに椅子を置くようになりました。このようにアンケートから来館者のニーズを知ることができるので、今後も続けていきたいと思っております。【かがくのこ】のことについても応援いただきありがとうございます。できれば全37校が参加したいと思えるような事業になるように、来年度以降も頑張っていこうと思います。

委員

施設アドバイザーというような人はいないのでしょうか。もしかしたら業者とかになってしまふのかもしれませんが展示物であったり、危険な箇所であったりを確認するようなプロからアドバイスをもらえるとより良いと思います。安くというのも大事ですね。バリアフリーなどの観点からですとか、そういった意見をいただくことは可能なのでしょうか。

事務局

展示の専門業者はいます。前回の展示ホールのリニューアルにもそういった業者が関わっています。今年、ある展示業者が来た際に展示物を見ながら話していると、業者の方から気になった点をいくつか言ってくれることもありました。向こうにとっても営業のチャンスなので、そういったこともあります。また、科学コミュニケーターの肩書の方で本田隆行さんという方がおられます。はやぶさプロジェクトにも関わっておられた枚方在住の方です。その方に2月に「科学講演会」をしていただきますが、「琵琶湖ウォッチング」導入の際も意見をいただいておりまして、一緒に展示ホールを見ている中で、「子供の目線から考えると良いですよ」だとかそういったことを言つ

てもらったこともありました。真正面から依頼するとお金がかかってしまうので、他のことで関わりがあるときに、少しでも意見を聞いていたら良いかと思っております。

委員

私たち自身もそういった意見を言う立場なのかもしれないと思いながら聞いていました。一緒に頑張っていきましょう。

委員

様々な事業について努力されていることが報告からよくわかりました。また今年度の結果を踏まえて、来年度に繋げようという思いがすごく伝わって来たのでそういった心構えは素晴らしいと思います。一つ、話されたことではないのですが、前から思っていたことを話そうと思います。こういった生涯学習に関わる施設ですと、展示内容についてですか質問や問い合わせが必ずあると思うのですが、こういったときの対応マニュアルがあつたりだとか、質問の記録を残していたりだとかしておられますか。これまで聞いたことがなかつたのでぜひ教えていただきたいです。というのも私たちの館でも質問を受けることは良くありますし、その中におもしろかったり、新しい気づきがあつたりということがあるので、大津市科学館はどうされているのか知りたいです。

事務局

質問をいただくことはあります。その時は、展示ホールから事務室の方へ内線で連絡が入り、その中で対応できる者が話をしに行くといった方法で、対応しています。ただ、何件あつただとか、こういった質問があつただとかといった記録はしていません。それを今後の科学館運営に生かせるように記録することは、良いことだと思いました。前向きに検討してみようと思います。

委員

外部講師を呼んでの事業もたくさんやっておられるのだと思いました。個人的に、講師で紹介があった、きしわだ自然資料館の方はよく知っているのですが、どういったことを中心にされていますか。

事務局

「化石のクリーニング」と「チリメンモンスター」をしていただいております。

委員

何もかもとはいえないのは分かっていますが、私の属する施設では、人文科学と自然科学に特化しています。いわゆるサイエンス的なことはしていません。館によって得意・不得意があるとは思いますが、自然科学の展示を増やすだとか、そんな必要はないだとか大津市科学館としてはその点は何か考えはありますか。

事務局

増やす、増やさないを検討したことが私はありません。ただ、自然科学の展示物が少ないというご指摘を受けることはよくありますので、展示ホールの何か展示物を変更するということになれば、自然科学のものを検討するのが良いのかなと個人的には思っていました。

事務局

展示業者と話していると、大津市科学館の展示物で「この分野のものが少ない」などはよく伝えられます。そして、リニューアルするにあたっては数を整理しないといけないということもあるので、今後考えていきたいと思います。

委員

水族アドバイザーっておもしろいなと思っていました。そういった方にも将来展望について聞いてみても良いのかなと思いました。

事務局

プラネタリウムの話を報告させていただきましたが、展示ホールについても同じくらいの年数が経過しております。何度も来られている方からすると、もう知っていて飽きたというようなこともある。そういうことを考えると展示内容を更新するということも検討しなければいけませんが、これについてもやはり多額の経費が必要になります。結局、大津市として科学館をどうしたいのかいうことが見てこないというのが大きな課題です。まずは科学館の位置づけについて、考えていかなくてはならない。しかし、あるべき姿というのはその時その時で変わってきます。万博に行かれた方はご存じかと思いますが、展示のほとんどが映像を使った展示です。しかし、大津市科学館はそうではなく実際に触って体験できるという展示物が多いです。おいたる岩石についても専門家の方にかかれば1時間くらい語れるものだと思います。それに関心をもてる子、長い時間でもずっと関心をもって話を聞けると思います。そういういろいろなケースが考えられるので、簡単には申し上げられないですが、ここは大津市立の科学館ですからいろんな層の方に楽しんでもらうというのは必要なことです。今は、プラネタリウムのことで一生懸命ですが、それが落ち着けば次は展示ホ

ールについて考えていかなくてはならないと思っています。先ほど、数字がありましたが半分は市外の方です。市外の方は来る機会も少ないので真剣に見られるかもしれません、展示内容は十数年経っているので更新が次の課題だということは把握しております。ただそれについて最大の課題は資金です。値上げをした効果について先程報告しましたが、年間500万円くらいは増えました。しかし、されど500万円です。展示ホール全体の更新は1億円以上かかったとも聞いているので、大津市全体の中でこの科学館の位置づけというものをしっかり認識する必要があります。そう意味でいうとメディアに取り上げてもらうということは大変ありがたいことです。取り上げていただけると来てもらえますし、府内でも「頑張ってるな」という声も聞きます。市内府内の上層部にそれをしっかり見ていただいて、「やっぱり科学館って良いな」と思ってもらい、県内に唯一の科学館であるので、それも含めて「必要な施設だ」と認識してもらう必要があります。我々としてもそこをアピールしながら予算をとることに頑張っていきたいと思います。みなさんもご遠慮なくご発言いただければと思います。よろしくお願いします。

委員

科学館は大津市にあることに意味があり、市民にとって必要な施設だと思います。多くの来館者があり、有効利用されていることは間違ひありません。より関心をもってもらうには展示内容にさらに工夫を加えていく必要があると思います。修繕が必要なものもあるかと思いますので、そういうものから時代に合った展示内容に常に更新していく必要があると考えます。そうすることで、大津市科学館がより市民から愛され大事にされる施設になるのではないかでしょうか。

委員

先程、質問があったときには誰かが答えに行くという話がありましたが、数年後には、マスコットキャラクターのようなAIが答えるようになっているのかな?と思います。そうすることで職員の負担減にも繋がるし、裏ではどういった質問があって、答えられなかつたものもあって、それがどんどん答えられるようにブラッシュアップしていくという展示になるでしょう。これが実現すると、それに留まらず例えば草津のイオンモールにも同じキャラクターが現れて、そこでも質問をすることができ、「それは大津市科学館に行けばわかるよ」というようなことを言ってくれることも考えられます。そして展示物がどうなっていくかの話ですが、映像展示がどんどん増えていくと思います。そうなると次は映画館やボーリング場なんかも同じような事をし始めるでしょう。そうなると科学館は科学館らしさを出していかなくてはなりません。科学館にとってのライバルがそういう場所になることも十分に考えられます。科学館はアンテナを高く張って、そういう施設よりも先取りして情報を得ていく必要があると考えています。次に、展示物を飽きさせないようにしたいけど、お金をどうしようかという話ですが、今ある展示物を変えようとするとお金がかかるというのはよくわかります。だから他の科学館同士で手を組んで物の貸し借りをするしかないと思います。3つくらいの施設が手を組めば、半年ごとにローテーションするがくて、大

津市科学館としてもラッキーだし、他の館にとっても大津の物が使えてラッキーだと思います。そういうやり方が、最もお金をかけずに飽きさせないようにする唯一の方法でないかと私は考えます。移設ということを視野に入れていただければありがとうございます。雲をつかむような話かもしれませんが、5年後、10年後科学館はどうなっているべきかということを想像してもらえばと思います。

委員

確かに、科学館同士の協力は必要なのだろうと思いました。

事務局

新しい視点を教えていただきありがとうございます。前段の、技術がどんどん進んでいく話については我々もそれに取りこぼされないように勉強していかないとと思うので日々の研鑽も我々の仕事の大きな部分かなと思いながら聞いていました。

委員

私は幼稚園教諭なのでプラネタリウムのアンケートを見ていた、「子ども」についての意見がやっぱり目に留まります。「何度でも戻って来れるよ」とか「真っ暗ではありませんよ」といったプラネタリウムの当たり前を覆すキャッチーな言葉が入っているようなチラシがあれば幼稚園に置きたいなと思いました。LINEなどのSNSでの発信は力があると思いますが、保護者の方々の様子を見ていると幼稚園の掲示板をよく見ておられるなど感じています。そこで、LINEやXのQRコードを置いておくと必ずスマホで読み取られるように思います。そういう形で、科学館と幼稚園で連携することはできると思いますし、在園しているご家庭だけでなく、未就園児への活動もしていますのでどんどん宣伝していくように思います。

事務局

幼稚園の掲示板にQRコードを貼らせてもらえば、どんどんフォロワーが増えそうだと思いました。協力いただけたら嬉しいです。プラネタリウムは「実はこんなところだよ」ということを発信することはすごく良さそうだと思いました。よく変わったイベントをすると若者に注目されると言われますが、やっぱり予想外なことって面白いと思うので、前向きに検討させていただきます。ありがとうございます。

委員

科学館のみなさんは出た意見をなんとかいい形にしていこうという思いを持って仕事をされているということがよくわかります。先ほども未就園児の話がありましたが、

私が勤務している幼稚園に来られる方が少しづつ増えてきています。なぜ増えてきていくかというと、口コミです。「友達から聞いてきました。」「近所の方に教えてもらいました。」という方が多いです。これだけスマートフォンがあるあっても、広まるのは口コミなんだということを最近すごく感じています。はじめてのプラネタリウムについて見ると、これだけ力を込めてしてくださっているのに、観覧者数としては昨年より減っていることに目が行きました。先ほども言わっていましたが、幼稚園にポスターがあれば見る人は多いと思います。簡単なポスターで良いので「この日にやっています」という情報があるだけで、行ってみようと思われる方は絶対にいると思います。未就園児だけでなく、そのご兄弟もおられるご家庭もあるので、そういった方を対象とした回投影があっても良いかもしれないと思っています。一つ聞いてみたいのが、支援を要する子どもが増えてきていますが、そういった方やそのご家庭が安心して来ることができる投影もあれば嬉しいなと思います。

事務局

支援を要する子を対象にしたような、それに特化した取り組みは現状していません。どういった形で実施するかなど今アイデアがある訳ではないですが、どなたでも安心して来館できるようにという視点で今後考えてみようと思います。あと、口コミってすごいなと感じました。幼稚園でしたら、はじめてのプラネタリウムに特化したポスターを作成するとすごく効果がありそうだと感じたので、検討させていただきます。ありがとうございます。

会長

みなさんからご意見、ご質問をいただくことができました。ありがとうございました。これで協議及び質疑の時間を終わらせていただきます。